



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社アドウェイズ

上場取引所 東

コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員 (氏名) 田中 庸一

TEL 03-5339-7122

四半期報告書提出予定日 平成26年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	22,272	42.9	533	107.5	489	56.2	348	26.9
25年3月期第3四半期	15,582	15.5	257	△74.9	313	△70.0	274	△60.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 434百万円 (28.5%) 25年3月期第3四半期 337百万円 (△50.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	9.33	9.04
25年3月期第3四半期	7.12	6.99

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	16,372	11,459	69.5	280.59
25年3月期	9,024	4,843	53.4	133.87

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 11,382百万円 25年3月期 4,816百万円

(注) 1株当たり純資産については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の重要な課題の一つと認識しており、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた利益配分に努めることを基本方針としております。現時点での平成26年3月期の配当予想につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	32.5	790	91.0	770	79.2	500	64.4	13.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、分割後の株式数を基準として算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	40,567,500 株	25年3月期	39,985,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	0 株	25年3月期	4,009,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	40,308,655 株	25年3月期3Q	38,579,242 株

(注) 発行済株式数については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は完了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ホームページ(<http://ir.adways.net/>)にて開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	5
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は増収増益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成25年3月期)	当第3四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	15,582,009	22,272,733	6,690,723 (42.9%)
営業利益	257,179	533,600	276,420 (107.5%)
経常利益	313,196	489,262	176,065 (56.2%)
四半期純利益	274,663	348,583	73,920 (26.9%)

売上高は、国内の広告事業が順調に推移したことにより、6,690,723千円増加し、22,272,733千円(前年同期比42.9%増)となりました。

営業利益は、当第3四半期連結累計期間の4月に新卒社員が入社したことによる人件費の増加及び本社オフィスの増床に伴う販売管理費及び一般管理費が増加したものの、国内の広告事業が順調に推移したことにより、276,420千円増加し、533,600千円(前年同期比107.5%増)となりました。

経常利益は、円安による為替差損69,859千円の発生等があったものの176,065千円増加し、489,262千円(前年同期比56.2%増)となりました。

四半期純利益は、当第3四半期連結累計期間に保有株式の売却により投資有価証券売却益を258,040千円計上したことにより、348,583千円(前年同期比26.9%増)となりました。

[報告セグメント別業績]

①広告事業

(単位:千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成25年3月期)	当第3四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	13,292,296	19,283,167	5,990,870 (45.1%)
(外部売上高)	13,271,908	19,191,056	5,919,148 (44.6%)
(セグメント間売上高)	20,388	92,110	71,722 (351.8%)
セグメント利益	1,155,689	1,990,429	834,739 (72.2%)

内訳:外部売上高(広告事業)

(単位:千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成25年3月期)	当第3四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
スマートフォン向け広告	3,659,295	8,357,011	4,697,715 (128.4%)
フィーチャーフォン向け広告	4,727,088	1,990,704	△2,736,383 (△57.9%)
モバイル向け広告計	8,386,383	10,347,715	1,961,331 (23.4%)
PC向け広告	4,885,524	8,843,341	3,957,816 (81.0%)

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」、携帯電話向けアフィリエイト広告「Smart-C」やPC向けアフィリエイト広告「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第3四半期連結累計期間における広告事業のモバイル向け広告は、モバイル端末利用者のフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行の影響により、広告主のフィーチャーフォン向け広告の出稿意欲は低下しております。一方でスマートフォン向け広告は、広告主の広告出稿意欲が高く、それに加え、アプリなどの広告掲載媒体数が増加していることから売上高が大幅に伸長し、モバイル向け広告の売上高は10,347,715千円（前年同期比23.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、金融関連企業を中心に取引が拡大したことにより売上高は8,843,341千円（前年同期比81.0%増）となりました。

この結果、広告事業の売上高は19,191,056千円（前年同期比44.6%増）、セグメント利益は1,990,429千円（前年同期比72.2%増）となりました。

②アプリ・メディア事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成25年3月期)	当第3四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	1,106,637	1,393,634	286,996 (25.9%)
(外部売上高)	1,066,891	1,286,751	219,860 (20.6%)
(セグメント間売上高)	39,746	106,882	67,136 (168.9%)
セグメント利益又は損失(△)	19,230	△296,136	△315,367 (-)

内訳：外部売上高（アプリ・メディア事業）

(単位：千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成25年3月期)	当第3四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
アプリ事業	654,673	620,737	△33,935 (△5.2%)
メディア事業	412,217	666,014	253,796 (61.6%)

アプリ・メディア事業は、主に連結子会社である愛徳威軟件開発（上海）有限公司と株式会社ラビオンソーシャルにおいてスマートフォンアプリの開発・運営、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいてメディアの運営等を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、平成24年3月期の上半期にリリースした「カイクツクロニクル」、「小悪魔キャバ嬢らいふ」や「煙に巻いたらさようなら。」等の既存のタイトルに続くヒット作を生み出すために自社タイトルのゲーム開発に注力してきました。しかしながら、有力なゲーム会社の参入等により売上高は620,737千円（前年同期比5.2%減）となりました。

今後は、自社タイトルだけでなく、大手ゲーム会社と共同でアプリ制作を行う協業事業や当社が海外の有力アプリの翻訳などを行い、日本国内に日本版の海外の有力アプリをリリースするパブリッシング事業を軸にアプリ事業の売上高安定化を図ります。

当第3四半期連結累計期間におけるメディア事業は、主に株式会社サムライ・アドウェイズにおいて広告主数が増加したことにより、売上高は666,014千円（前年同期比61.6%増）となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は1,286,751千円（前年同期比20.6%増）となったものの、人件費等の販管費が増加したことにより、セグメント損失は296,136千円（前年同期は19,230千円の利益）となりました。

③海外事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成25年3月期)	当第3四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	1,252,274	1,887,169	634,894 (50.7%)
(外部売上高)	1,238,051	1,785,836	547,785 (44.2%)
(セグメント間売上高)	14,223	101,332	87,109 (612.4%)
セグメント損失(△)	△132,583	△150,795	△18,211 (-)

海外事業は、中国・台湾・韓国・米国において、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間における海外事業は、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」の中国版「AppDriver China」の売上高の増加に加え、韓国子会社において、日系企業への韓国現地における広告出稿の営業を強化したことにより、前年同期比で売上高は増加いたしました。一方、海外赴任者の増加に伴い営業費用が増加したため、セグメント損失は増加しております。

この結果、海外事業の売上高は1,785,836千円(前年同期比44.2%増)、セグメント損失は150,795千円(前年同期は132,583千円の損失)となりました。

④その他

(単位：千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成25年3月期)	当第3四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	10,642	19,577	8,934 (84.0%)
(外部売上高)	5,158	9,088	3,930 (76.2%)
(セグメント間売上高)	5,484	10,489	5,004 (91.2%)
セグメント損失(△)	△100,810	△124,634	△23,824 (-)

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第3四半期連結累計期間におけるその他は、新規事業の立ち上がりが芳しくなく売上高は9,088千円(前年同期比76.2%増)と増加したものの、セグメント損失は124,634千円(前年同期は100,810千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期 (平成25年12月31日)	対前年同期増減額 (増減率)
資産合計	9,024,689	16,372,553	7,347,864 (81.4%)
負債合計	4,180,723	4,912,756	732,032 (17.5%)
純資産合計	4,843,965	11,459,797	6,615,831 (136.6%)

[資産合計]

- 流動資産が前連結会計年度末より226,747千円増加し15,036,274千円となりました。主な要因は現金及び預金が増加したこと及び売掛金が606,481千円増加したことによるものであります。
- 固定資産が前連結会計年度末より121,116千円増加し1,336,279千円となりました。主な要因は投資その他の資産に含まれる長期繰延税金資産が56,723千円増加したこと、関係会社出資金が30,900千円増加したこと及び無形固定資産その他に含まれるソフトウェアが32,226千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より720,150千円増加し4,857,509千円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が411,043千円増加したこと及び未払法人税等が138,174千円増加したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より11,882千円増加し55,246千円となりました。主な要因はその他に含まれる資産除去債務が5,894千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より6,615,831千円増加し11,459,797千円となりました。主な要因は資金調達による資本剰余金が5,618,300千円増加したこと、利益剰余金が348,584千円増加したこと及び為替換算調整勘定が158,330千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、スマートフォンの急速な普及に伴う市場の拡大やスマートフォン・タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調に拡大することが予測されております。これらの傾向は国内だけでなく、海外においても顕著であり、中国をはじめとするアジア諸国においてインターネット関連市場は急速に拡大しております。

当社グループは、これらの拡大が見込まれるスマートフォン関連事業及び海外事業に積極的に注力し、当連結会計年度は事業をさらに成長させ、次期以降の収益力の向上をめざしてまいります。

以上より、平成26年3月期の業績見通しにつきましては、売上高30,000百万円（前期比32.5%増）、営業利益790百万円（前期比91.0%増）、経常利益770百万円（前期比79.2%増）、当期純利益500百万円（前期比64.4%増）を見込んでおります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

①連結の範囲の重要な変更

第1 四半期連結会計期間より、株式会社アドウェイズ・スタジオ、株式会社サムライベイビー及び亜堂科技（上海）有限公司を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

第2 四半期連結会計期間においては、Bulbit株式会社を新規設立したため、連結の範囲に含めております。

当第3 四半期連結会計期間においては、コパン株式会社の株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

第1 四半期連結会計期間より、ライヴエイド株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、持分法適用の範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,982,171	10,559,814
受取手形及び売掛金	3,550,165	4,156,646
たな卸資産	6,184	3,975
その他	306,248	356,909
貸倒引当金	△35,243	△41,071
流動資産合計	7,809,526	15,036,274
固定資産		
有形固定資産	141,492	148,812
無形固定資産		
のれん	86,272	84,732
その他	39,242	71,876
無形固定資産合計	125,514	156,609
投資その他の資産		
その他	983,299	1,062,852
貸倒引当金	△35,144	△31,994
投資その他の資産合計	948,154	1,030,857
固定資産合計	1,215,162	1,336,279
資産合計	9,024,689	16,372,553
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,310,044	3,721,087
未払法人税等	152,914	291,089
その他	674,399	845,332
流動負債合計	4,137,359	4,857,509
固定負債		
その他	43,364	55,246
固定負債合計	43,364	55,246
負債合計	4,180,723	4,912,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,479,142	1,487,895
資本剰余金	1,664,201	7,282,502
利益剰余金	1,996,509	2,345,094
自己株式	△508,065	—
株主資本合計	4,631,787	11,115,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,652	20,184
為替換算調整勘定	88,757	247,088
その他の包括利益累計額合計	184,409	267,273
新株予約権	8,888	38,498
少数株主持分	18,880	38,534
純資産合計	4,843,965	11,459,797
負債純資産合計	9,024,689	16,372,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	15,582,009	22,272,733
売上原価	12,815,720	18,313,550
売上総利益	2,766,289	3,959,182
販売費及び一般管理費	2,509,109	3,425,582
営業利益	257,179	533,600
営業外収益		
受取利息	2,565	8,372
補助金収入	3,120	6,256
外国税還付金	58,294	11,953
その他	8,003	9,600
営業外収益合計	71,984	36,184
営業外費用		
投資有価証券評価損 為替差損	4,001	1,473
開業費償却	—	69,859
その他	8,918	—
その他	3,047	9,188
営業外費用合計	15,967	80,521
経常利益	313,196	489,262
特別利益		
投資有価証券売却益	216,221	258,040
関係会社株式売却益	35,540	—
持分変動利益	—	7,297
特別利益合計	251,762	265,337
特別損失		
固定資産売却損	63	—
関係会社株式売却損	—	631
投資有価証券評価損	28,632	40,003
減損損失	28,593	—
特別損失合計	57,289	40,635
税金等調整前四半期純利益	507,669	713,964
法人税、住民税及び事業税	191,614	391,985
法人税等調整額	38,634	△29,163
法人税等合計	230,249	362,821
少数株主損益調整前四半期純利益	277,419	351,142
少数株主利益	2,756	2,558
四半期純利益	274,663	348,583

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	277,419	351,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,319	△75,467
為替換算調整勘定	3,940	158,330
その他の包括利益合計	60,259	82,863
四半期包括利益	337,678	434,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,786	430,516
少数株主に係る四半期包括利益	892	3,489

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、メルリンチ日本証券株式会社に割り当てた行使価額修正条項付き第9回新株予約権のすべての権利行使及び払込が完了し、当社が保有するすべての自己株式を処分いたしました。

この結果、資本剰余金が5,619,890千円増加し、自己株式が488,422千円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	13,271,908	1,066,891	1,238,051	15,576,851	5,158	15,582,009	—	15,582,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,388	39,746	14,223	74,358	5,484	79,843	△79,843	—
計	13,292,296	1,106,637	1,252,274	15,651,209	10,642	15,661,852	△79,843	15,582,009
セグメント利益又は損失(△)	1,155,689	19,230	△132,583	1,042,337	△100,810	941,526	△684,347	257,179

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△684,347千円には、主にセグメント間取引消去△29,322千円、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用655,025千円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アプリ・メディア事業」セグメントにおいて、のれんに係る減損損失を特別損失に28,593千円計上しております。当該のれんの減少額は、連結子会社株式の減損処理に伴って、のれんを一括償却したものであります。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、JS ADWAYS MEDIA INC.の子会社化に伴い、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は、前第3四半期連結累計期間において78,851千円であります。

「アプリ・メディア事業」セグメントにおいて、株式会社アドウェイズ・エンタテイメントの連結除外に伴い、のれんが減少しております。当該のれんの減少額は、前第3四半期連結累計期間において44,126千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	19,191,056	1,286,751	1,785,836	22,263,644	9,088	22,272,733	—	22,272,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	92,110	106,882	101,332	300,326	10,489	310,815	△310,815	—
計	19,283,167	1,393,634	1,887,169	22,563,971	19,577	22,583,548	△310,815	22,272,733
セグメント利益又は損失(△)	1,990,429	△296,136	△150,795	1,543,497	△124,634	1,418,862	△885,262	533,600

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△885,262千円には、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用を含んでおります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「広告事業」セグメントにおいて、Bulbit株式会社の株式の追加取得により、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては14,005千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。